

\*\*\*\*\*

「海の生き物を守る会」メールマガジン No.32

2009.1.28 (水)

# うみひろも

Association for Protection of Marine Communities (AMCo)

Homepage : <http://www7b.biglobe.ne.jp/~hiromuk/index.html>

\*\*\*\*\*

## 「今日の海の生き物」 マユグロアホウドリ *Thalassarche melanophris*

アホウドリの一種で、目の上に黒いアイラインがあることから、この名がついた。南極海の周辺の島々で繁殖し、ガラパゴス諸島やフォークランド諸島など南太平洋一帯に飛翔する。繁殖時以外は陸上に近寄ることはない。寿命は鳥類の中では長く、50年近いと考えられている。身体は大きく、翼は長い。大きな翼を使って滑空飛行を長時間続けることができる。



(イギリスのハーレイ南極観測基地近くにて 高橋晃周氏撮影)

\*\*\*\*\*

目次 「今月の海の生き物」マユグロアホウドリ

1. 海の生き物とその生息環境に関するニュース
2. 当会の現在の活動と予定
3. 海の生き物に関する運動・行事・他の団体の情報
4. 海の生き物とその環境に関する出版物の紹介
5. 事務局便り
6. 編集後記
7. 「うみひろも」と「海の生き物を守る会」について

\*\*\*\*\*

## 1. 海の生き物とその生息環境に関するニュース

### 【国際】

#### ●6ヶ月で900万円 珊瑚礁の島の管理人募集中

オーストラリアのグレートバリアリーフの小さな島で、管理人を格別の条件で募集している。募集しているのはクイーンズランド州観光局、島はニューギニアとの境にあるトレス海峡のハミルトン島。契約期間は6ヶ月で報酬は15万オーストラリアドル。オーストラリアドルは円に比べて大幅に下落しているものの、それでも900万円くらいにはなる。

仕事の内容は、島内の巡回とブログや写真、ビデオによる報告、取材対応、プール清掃、魚の餌やり、郵便物の回収など。シュノーケリングやホエールウォッチングをしてもOKとか。住居はプール付き住宅を与えられ、往復航空券、島内の交通費、旅行保険、コンピューターとカメラなどの機材、グレートバリアリーフのほかの島への交通費も支給されるという夢のようなお話し。応募は2月22日締め切りなので、我と思わん人は応募してみたらどうでしょう。応募資格は水泳とシュノーケルが得意で冒険心にあふれ、優れた意思疎通能力を持っていること。日本にもこんないい話はないだろうか（笑）。

### 【全国】

#### ●海洋・海岸ネットワークが「海洋環境政策ネットワーク」と改名

「海の生き物を守る会」も参加している海洋環境保護のために市民が政策を提言するためのネットワーク組織「海洋・海岸ネットワーク（仮）」は、名前を「海洋環境政策ネットワーク」と改め、活動をすることになった。さっそく、3月28日には「海の生き物を守る会」と合同で「海洋保護区」をテーマとしたシンポジウムを行う（予定は5ページ参照）。

#### ●環境省の海域予算はたった600万円？

国立・公園保全管理強化事業として上がっている環境省の自然環境局予算は、全部でわずか600万円に過ぎないという。未確認情報だが、もしそれが本当なら、上記のオーストラ

リアの島の管理人の 6 ヶ月分の給料よりも少ないことになる。もっと海洋の保護や保全に予算を取れないものだろうか。

## 【東北】

### ●真冬にサケが産卵に遡る 盛岡の中津川

盛岡市の中心部を流れる中津川で1月22日にサケが見られた。川の中をゆっくりと泳いでいたサケは全身が白く変色し、すでに産卵を終えた雌とみられる。こんな真冬なのにと市民は驚いていた。

中津川のサケ遡上は普通10月。津軽石川のサケは、1月に遡上する後期群といわれるタイプなのでその可能性が高いという。水温の温暖化が影響しているかどうかは不明。

## 【東海】

### ●海上保安部がウミガメ保護で寸劇教室

清水海上保安部は、各地で海洋環境の大切さを伝える催しを開いているが、静岡市では小学校に出前教室を行っている。このたび飯田小で海保の潜水士が「ウミガメの産卵」を題材にした寸劇を披露し、児童に「海にゴミを捨てないで」と訴えた。

演劇の公演は初めて。お話は海岸の汚れで産卵場所に悩む母ウミガメが、潜水士の「なんでも相談所」にやって来たというもの。講演だけではなく、演劇など動きがあった方が子どもに強い印象を与えることができるとして企画された。

紙芝居も行われ「ウミガメは海に浮遊するレジ袋のごみを、好物のクラゲと見間違えて食べてしまい苦しんでいる」となど身近な環境問題として、真崎海岸や興津川河川敷にたまったごみの状況も紹介した。

## 【北陸】

### ●冬の珍味ナガラモを知っていますか？

冬の珍味として知られる海藻ナガラモの漁が石川県氷見市の沖合で始まった。ナガラモとはホンダワラ科の海藻で正式和名は「アカモク」。本州の南部を中心に全国各地の沿岸に分布する背の高い海藻。数mにもなる。湯通しして包丁などで細かくたたくと粘り気が出て、酢の物やみそ汁の具などにするとおいしいという。しかし、軟らかく食べられるのは、海藻の本体が出始める冬の頃に限られる。

同市内では以前は漁業関係者しか食べなかった。近年コレステロールや血圧を下げるなど「天然の健康ダイエット食品」として注目されるようになり、500gが250円前後で売られている。

### ●三国では岩ノリ採り

毎年、冬の風物詩の一つ「岩ノリ採り」が、坂井市三国町安島などの海岸で行われた。

岩に腰を下ろした海女たちは、手作業で次々とびっしりと生えた黒い岩ノリを摘み取っている。同町安島では、号令で作業を実施し、約40人の海女が岩ノリ採りを競った。1時間ほどで1人約2キロくらいの岩ノリを収穫していた。

## 【近畿】

### ●体長3メートルの巨大ゴカイ発見

和歌山県白浜町の瀬戸漁港で体長3m、重さ433グラムもある巨大オニイソメが見つかった。発見したのは京都大学瀬戸臨海実験所の元職員の田名瀬英朋さん。同実験所の久保田信准教授は「これほど大きなものは見たことがない。お化けゴカイだ」と驚いて標本にして展示したいと言った。

オニイソメは、日本沿岸に生息するゴカイの中でも最も大きくなる種。本州中部以南の岩の割れ目などに生息している。背面は黒褐色。強力なあごで小さな動物を捕まえて食べている。

## 【中四国】

### ●海底のごみは誰が回収すべきか？

岡山で「瀬戸内海海ごみ対策検討会」が開かれ、海底のゴミを誰が処理するかについての検討が行われ、役割分担の最終案がまとめられた。環境省や瀬戸内海沿岸の自治体、漁業者などで行った検討会では、漁網にかかった海底ごみの回収促進のため、役割分担を含めた処理マニュアル案を示した。マニュアルは、市町村はごみ処理を担当し、漁業者は市町村が処理しやすいよう可能な限り分別するよう求めたもの。県に対しては、ごみ保管施設設置に補助を検討することなどを促している。

委員からは「ごみを受け入れてもらえない漁業者は自費で処理している。自治体に理解を広げてほしい」などの意見があがった。

## 【沖縄】

### ●差し止め判決を無視して埋め立てが始まった 泡瀬干潟

沖縄県うるま市の中城湾港で泡瀬干潟埋め立て事業工事が15日から突然開始され、いよサンゴの「生き埋め」が始まった。現場では「泡瀬干潟を守る連絡会」会員や地元住民による抗議集会が開かれたが、集会終了直後から浚渫のクレーンが不気味な音を立て動き出し、真っ黒な泥をサンゴや海草が生育する泡瀬の海に流し込みはじめた。

泡瀬干潟については、住民が求めた埋め立て事業への公費支出差し止め訴訟の判決が出されたばかり。判決では公費の支出は「どこからみても経済的に合理性がない」として、公金の支出は無駄使いであるとした。しかし、東門市長らは判決を不服として控訴したばかり。この日の工事は、国交省がわれわれは被告ではないと言い逃れをして判決を無視、埋め立て工事を始めてしまった。

## ●アーサの養殖が始まる 宮古島

アーサはヒトエグサ科の海藻ヒトエグサの沖縄での呼び名で、味噌汁などに入れて食べる。これまではほとんどが海岸などに自生したヒトエグサを手で採集していたが、需要が伸びていることなどから、宮古島漁協では、アーサの養殖を本格化させた。初年度は、1—3月に3期間に分けて収穫し延べ網数千枚、約5トンの収穫量を見込んでいる。

沖縄県では北中城村や恩納村などでアーサの養殖が行われてきたが、宮古島市内では養殖が本格的に行われていなかった。ホテルや水産物販売業者などからの年間を通した需要が高まり、本格的な養殖を行うことになった。来年度以降も離島漁業再生支援交付金を活用して規模を拡大させる予定。

## 2. 当会の現在の活動と予定

### ●海洋シンポジウムを開催します

「海の生き物を守る会」では、3月28日（土）に、東京弘済会館でシンポジウム「海洋環境の保全」を下記の通り、海洋環境政策ネットワークとの共催で開催します。

海洋シンポ「海洋環境の保全—海洋生物とその環境保護・保全の政策化をめざして—」

とき：3月28日（土）13:30~16:30

ところ：弘済会館・きく

参加費：1000円（海の生き物を守る会会員は無料）

主催：「海の生き物を守る会」「海洋環境政策ネットワーク」

後援：日立環境財団・セブン—イレブンみどりの基金

連絡・申込先：

海洋ネット事務局 TEL:03-5226-8843 FAX:03-5226-8845 e-mail: [kobayashi@c-poli.org](mailto:kobayashi@c-poli.org)

内 容：

第一部 基調報告

1. 日本の水産行政の問題点と方向性

勝川 俊雄（三重大学大学院生物資源学研究科 准教授）

第二部 問題提起・話題提供として

1. 日本における海洋保護区：環境省

2. 海洋保護区の設置と制度的課題

清野 聡子（東京大学大学院総合文化研究科 助教）

3. 持続的利用のための海洋保護区はどうあるべきか

向井 宏（海の生き物を守る会/

京都大学フィールド科学教育研究センター 特任教授）

#### 4. 海洋保護・保全法（素案）の提案：海洋ネット

##### 第三部 ディスカッション

パネリスト：基調報告者・話題提供者

コーディネーター：伊沢 あらた（アマタ株式会社/水産学博士）

##### □趣 旨

海洋は気候の調整をはじめとして、移動、食糧確保、エネルギー資源、レジャーなど人間の生活にさまざまな形で寄与している。しかし、人間の活動によって海洋環境は悪化し、乱獲による資源の減少、海洋汚染など海洋生物の生存は深刻な危機に直面しており、早急な対処が必要である。特に、水産資源が重要な食料の柱である日本にとって、海洋環境の悪化、資源の減少による影響は将来にわたって大きな問題である。

その課題を解決するため、国際的には、①国連環境開発会議（リオサミット）が採択したアジェンダ 21 は、“海洋保護区を設けること”に言及し、ほぼ同時期に②生物多様性条約が採択され“「保護地域」の設定を柱とする生物多様性の保全制度の整備”が示され、③その後発効した国連海洋法条約は“海洋環境の保護及び保全”について明示し、④持続可能な開発に関する世界サミット（WSSD）で公表された「実施計画」の中で、“海洋保護区の設定”が明示され、⑤第5回世界国立公園会議（世界保護区会議）で“生態的に意義のある海洋保護区を公海上に少なくとも5つ指定すべきである”との勧告が示された。など、「海洋保護（区）」に関して、さまざまな場面で論じられ、また実行されつつある。

国内では、昨年「海洋基本法」が制定され、それをきっかけにして、海洋の保護、保全についても本格的な取組みが求められ、「生物多様性基本法」制定により“生物の多様性の保全及び持続可能な利用に関する施策を総合的かつ計画的に推進”することが求められている。「海洋保護（区）」に関連する現行法としては、自然公園法に基づく「自然公園」、「海中公園地区」、自然環境保全法に基づく「海中特別区域」、水産資源保護法に基づく「保護水面」などがある。しかし、その目的が“景観の保護”に重点が置かれていることや、指定されてもその保護や管理が徹底されないなど、現行制度での課題は多い。

上記のような経緯や課題をふまえ、“海洋環境を保全し、海洋生物を保護するための政策の具体化”を市民レベルから模索するために、本シンポジウムを開催したいと思いますので、多数ご参加下さい。

## ● 砂浜海岸生物調査の結果を集計します

海の生き物を守る会・OWS

海の生き物を守る会では、セブン-イレブンみどりの基金の後援で、NPO法人OWSと共同で今年から全国の砂浜海岸生物調査を実施しています。日本の砂浜を生き物のために取り戻そうと計画された調査です。調査は誰にでもできる方法で計画されていますので、少しでも多くの方が、多くの海岸でこの調査に参加していただけるようお願いいたします。

ご協力いただける方には、方法と調査用紙をメールでお送りします。当会のホームページ <http://www7b.biglobe.ne.jp/~hiromuk/index.html> にも掲載しています。NPO法人「海守」でもこの砂浜海岸生物調査に参加を呼びかけています。

なお、今年度の調査結果を2月末でいったん締め切り、報告書としてまとめる予定です。調査を行った方は、なるべく早く調査結果をお送り下さい。よろしく申し上げます。

### 3. 海の生き物に関する運動・行事・他の団体の情報

#### 【中四国】

##### ●市民活動のための「環境アセスメント講座」

第一日 2月14日(土) 13:00~16:40 ピュアリティまきび2階会議室

講義① 環境アセスメントと市民の役割

講義② 風力発電所計画とアセス

第二日 2月15日(日) 13:00~16:30 岡山国際交流センター研修室

ワークショップ 市民意見の形成

第三日 2月21日(土) 13:00 集合~17:00 解散 林原モータープール

現地見学 海から見学アセスの現場

第四日 2月22日(日) 13:00~16:20 【会場】岡山国際交流センター会議室(1)

講義③ 廃棄物処理場とアセス

講義④ 都市再開発とアセス

受講料 1000円(全回通して)

定員 30人(定員になり次第、締切)

問合せ・申込方法：環瀬戸内海会議 (松本 宣崇 宛て)

TEL:090-3638-0187 FAX:086-243-2927 Eメール：[webmaster@aozora.or.jp](mailto:webmaster@aozora.or.jp)

##### ●シンポジウム「ひろしまの‘川ガキ・海っこ’育て隊2009」

2月15日(日) 13:30~ 幟会館(広島NPOセンター：広島市中区八丁堀3-1)

主催・問合せ 環・太田川 (Tel 082-842-6414)

#### 【九州】

##### ●「宮崎の海岸シンポジウム」～住吉海岸の侵食問題を考える～

とき 2009年2月1日(日) 午後1時から4時半(開場 12:30)

ところ 宮崎市市民プラザ4階 ギャラリー

参加費 : 500円 定員 : 先着300名

侵食が進んでいると言われる宮崎市の住吉・佐土原海岸。本当に砂が消失しているのか。松林を増やすのは適切な対策なのか。生活を守るための侵食対策に、市民はどのように関わることができるのか。いまわかっていること、それぞれの立場で伝えたいことをまずは聞いてみませんか。そして一緒に、宮崎の将来の砂浜のあり方を考えてみませんか。

プログラム

- \* 「海岸侵食と宮崎住吉海岸」 佐藤慎司 (東京大学)
- \* 「植林と砂浜侵食の関係」 三浦知之 (宮崎大学)
- \* 「一ツ葉海岸のサーフスポットの昔と今」 上村貴志 (宮崎県サーフィン連盟)
- \* 「宮崎海岸の侵食対策の進め方」 杉山光徳 (国交省宮崎河川国道事務所)
- \* 「海岸侵食対策と地域住民の関わり方」 清野聡子 (東京大学)

主催 : ひむかの砂浜復元ネットワーク 協力 : 住吉海岸を守る会

助成 : 宮崎市市民活動支援補助事業・日本自然保護協会 PN ファンド

連絡先 E-mail : [lovejunlin@hotmail.com](mailto:lovejunlin@hotmail.com)

Phone: 090-6638-0022

## 【沖縄】

### ●海辺の環境教育フォーラム 2009 in 石垣島

#### テーマ:「海の未来・子どもたちの未来」

[募集要項など詳細はこちら→ <http://interpreter.ne.jp/umibe/next.html> ]

全国から集まる海の環境教育に携わる方、地域で活躍する様々な立場の方、そして未来を担う子どもたちが一緒になって、環境教育、サンゴやサンゴ礁、地球規模の環境問題、そして地域や子どもたち自身のことなどを楽しく語り合いながら全国に発信します。

フォーラムの一部を「海童祭」と題し、お祭り形式の楽しいイベントとして一般公開し、八重山住民の方々にも広く参加を呼びかけ、環境問題や環境教育に関心のない方にもこれを機会に「海の未来、子どもたちの未来」を考えるきっかけにしたい。

また、今回は子どもたちも一緒に参加できるプログラム・ワークショップを用意しますのでご家族そろってご参加ください。託児施設はありませんが、授乳やお昼寝のできる部屋は用意してあります。

開催月日 : 2009年3月13日(金) ~ 3月15日(日)

開催地 : 沖縄県石垣市大浜 大浜公民館(予定)

参加費 : (会場費・資料代・懇親会費・保険込み) 大人 4,000円 夫婦割(おふたり料金) 7,000円 子ども(5歳から小学生まで) 1,000円(5歳未満は無料) 学割(中学生から大学生まで) 3,000円(学割申込の方は、当日フォーラム運営のお手伝いをさせていただきます)

定員 : 100名

実施内容（予定）：

3/13 プレワークショップ（郷土料理体験、マングローブ探検、シュノーケル体験）、前夜祭、ナイトツアー 等

3/14 開会式、分科会、懇親会（分科会中間報告など） 等

3/15 「海童祭」（講演「八重山のサンゴの現状（仮）」、八重山の小学生たちによる海辺での活動の発表、パネルディスカッションなど）、ポスターセッション、分科会発表、全体会、閉会式 等

主催:海辺の環境教育フォーラム 2009 in 石垣島 実行委員会

共催:海辺の環境教育フォーラム事務局

後援:石垣島沿岸レジャー安全協議会、八重山サンゴ礁保全協議会、八重山ダイビング協会

## 4. 海の生き物とその環境に関する出版物の紹介

●久保田信「神秘のベニクラゲと海洋生物の歌 “不老不死の夢”を歌う」

pp.114 不老不死研究会 ¥1,429+消費税 (2005)

京都大学瀬戸臨海実験所の久保田准教授が、老化と若返りを繰り返す不思議な海の生き物「ベニクラゲ」について書いた文章をまとめて自費出版したもの。久保田さん作詞作曲の楽しい「ベニクラゲ音頭」のCDも付いて1500円。発売元は「紀伊民報」社(0739-22-7171)。

●NPO 法人有明海再生機構「有明海講演会 カキ礁復元による有明海再生講演集」pp.40 有明海再生機構 非売品 (2008)

### 5. 事務局便り：

●講演での講師派遣を希望される方は、事務局へお問い合わせください。沿岸の生物やその環境についての問題、沿岸生態系の構造、保全、再生、地球環境問題、環境教育などに関する講演を行うことができます。

●本会へのカンパをお寄せください。口座は埼玉りそな銀行指扇支店 3896180。

●企画案などその他なんでも本会の活動に関することは、事務局あてにお寄せください。

●このメールマガジンは、毎月1日と16日の2回発行の予定ですが、都合によって遅延や中止もあります。配信を希望する方、送りたい方がありましたらアドレスをお知らせください。また、パソコンを使えない方には印刷体でもお届けします。その場合は、郵送料をご負担していただくことがあります。

●このメールマガジンは転載自由です。海の生き物に関心を持っている方に広く読んでいただくために転送をお願いします。ただし写真を別の目的で使用する場合は事前にご連絡ください。海の生き物や海の生き物を守る運動についての情報など、また各地で行われている海の生物の観察会、研修会、その他の行事に関する情報もお寄せください。「うみひ

るも」のバックナンバーは、ホームページからダウンロードできます。

- 本会は自然観察会や講演会を各地で実施しています。各地で開催を希望される方、開催をお手伝いできる方は、ご一報ください。また、各地の団体との共催も行います。ごいっしょに講演会や観察会をしたいと思われる団体からも提案をお受けします。

## 6. 編集後記

読者のみなさま、お待たせしました（待っていた訳じゃないという声も聞こえそうです）。1ヶ月ぶりに「うみひろも」をお送りします。「海の生き物を守る会」では、3月28日に「海洋シンポジウム」開催します。生物多様性 COP10 が来年名古屋で開催されることもあり、環境省では自然公園法の見直しの中で、実効性のある海洋保護区の設定を模索しています。国立公園や国定公園では、これまでも海域を一部指定していましたが（瀬戸内海国立公園など）、ほとんど実効性がないという批判が強く、多様性条約でも保護区の設定が求められています。ぜひとも日本に実効性のある海洋保護区を作ることができるために、われわれ市民が何をすべきか、何ができるかを、このシンポジウムを通して議論し、海の生き物を守るために一歩でも前進したいものです。（宏）

## 7. 「うみひろも」と「海の生き物を守る会」について

この「うみひろも」は「海の生き物を守る会」のメールマガジンです。配信が迷惑と思われる方は事務局までご連絡ください。「海の生き物を守る会」の趣旨および組織の概要は会のホームページ <http://www7b.biglobe.ne.jp/~hiromuk/index.html> をごらんください。

**海の生き物を守るためになにかしたい！というあなたに！**

### 会員募集中です！

会員は本会の趣旨に賛同できる個人・団体とします。会費は個人 2,000 円／年、団体 20,000 円／年。匿名による参加も可能です。会員は、当会の名前を使って各地で海の生物とその環境を保護・保全する活動を行うことができます。活動は当会の発行するメールマガジンなどを通して広く通知されます。会員は本会の名前で各地の活動のための助成金申請をすることができます。入会希望の方は、事務局 [hiromuk@mtf.biglobe.ne.jp](mailto:hiromuk@mtf.biglobe.ne.jp)（向井）まで、氏名、住所、メールアドレスをお知らせください。

### 事務局員も募集中！

事務局を手伝っていただける人を探しています。パソコンでメールが使える環境にあれば近くにいなくてもお手伝いいただけます。ただし、無収入ですので海の生き物の保全・保護に関心とボランティア精神のある方。

メールマガジン『うみひろも』第32号 2009年1月28日発行  
発行&編集人「海の生き物を守る会」代表 向井 宏  
〒606-8244 京都市左京区北白川東平井町 23-1 グリーンヒル北白川 23  
TEL&FAX:075-703-7205; 090-8563-1501  
メールアドレス : [hiromuk@mtf.biglobe.ne.jp](mailto:hiromuk@mtf.biglobe.ne.jp)  
ホームページ URL : <http://www7b.biglobe.ne.jp/~hiromuk/index.html>  
銀行口座 : 埼玉りそな銀行指扇支店 3 8 9 6 1 8 0

